

津市総合計画後期基本計画（案）に係る委員意見一覧表

ページ	行	まちづくりの目標	委員	内容
111	1行目	豊かな文化と心を育むまちづくり	原田委員	<p>【3-1 生きる力を育む教育の推進 第2項】 (2) 教育環境の整備 ②幼保合同保育の充実 「津市独自のこども園」をいつまでに、どれくらいの数を設置して、職員をどう配置するか、など計画・タイムスケジュールを今後明確に発信して頂きたいと考える。</p>
112		豊かな文化と心を育むまちづくり	原田委員	<p>【3-1 生きる力を育む教育の推進 第2項 学校教育 全般】 学校教育の現状や将来、学校運営、職員や児童生徒のありよう、食育や人権教育、いじめの事など保護者や地域に対して情報化の推進を図っていただきたいと考える。</p>
140	3行目	活力のあるまちづくり	吉岡委員	<p>【4-1 自立的な地域経済の振興 第3項 林業の振興 現状と課題】 「○林業における現状は、海外から低価格の建築資材が輸入され厳しい競争が強られる一方、国産材の生産コストが過大で採算性の悪化が続いています。このため、森林の荒廃が進み、多面的な公益的機能も低下しています。」とありますが、林産品貿易については国策として自由化（関税ゼロ）されており厳しい国際価格競争に置かれている中、生産コストについては、林業関係賃金も他産業に比べて、業務の危険度からみて決して高いものではなく、有能な勤労者を確保できる最低のところにあります。また、森林組合では、作業の効率等についても、国・県・市の支援を受けて、高性能林業機械を導入するなどに取り組んでいます。 以上のことから、次のように表記するほうが望ましいと考えます。 「○ 林業の現状は、貿易自由化による厳しい木材価格の競争の中に置かれるとともに、国産材の生産性の改善が進まず、採算性の悪化が続いています。このため、林業への取組み意欲は減退し、森林管理が行われず、荒廃が進み、森林の多面的な公益的機能が低下しています。」</p>

